

「サルに出会った場合の対応の仕方」講演概要

サルはどんな動物？

運動能力

- ・ 飛び跳ねて2mぐらいの高さまで手が届く。
- ・ ものを持ち上げる力はそんなに強くない。
- ・ 登ったり、飛び跳ねたりするのは得意。
- ・ 視覚、聴覚、嗅覚は人間と同じくらい。

特性など

- ・ 記憶力(場所・出来事・人)や学習能力が高い。
- ・ いろいろなことを試して学習する。物まね(サルまね)では学習しない。
- ・ 何が食べ物かを学習により覚えるようになる。甘いものが好き。
- ・ 同じ刺激を繰り返すと慣れてしまう。
- ・ 昼間に行動し、何でも食べる(雑食性)。群れは10数頭から 100 頭程度で活動する。
- ・ オスは大人になると群れから離れ、「離れザル」として活動する。

サルに出会った場合の注意事項！

- ・ おどかしたり急に動いたりして刺激を与えず、落ち着いてその場からそっと立ち去る。
一般的に野生のサルは、こちらから何もしなければ襲ってくることはほとんどない。
大きな声を出したり、物を投げたり、棒で追い立てたりすると、サルが興奮して人を襲ってくる可能性もある。
- ・ サルに近づかない。
野生のサルは人に慣れていないので、むやみに近づくと襲われることがある。
遠くにサルを見かけたときは、そのままサルから見えないところに離れよう。
通学路で出会ったときは、サルがいなくなるまで待つか、迂回して安全な道を通る。
低学年の子は、高学年の子の言うことをよく聞いて行動しよう。
- ・ 目線を合わせない。
目線を合わせると「いかく」されたと思い、人が視線をそらしたときに襲う場合がある。
- ・ サルにエサを与えない。
人を怖がらなくなり人に慣れてしまうと、家に入ってきたりするなど地域全体に被害が発生する恐れがあるので、絶対にエサを与えてはいけない。